



- ☐ 日本選手権
☐ 国民体育大会
☐ ジャパンオープン
☐ クラブ選手権
☒ 全国大会
☐ ブロック大会
☐ 都道府県大会

令和7年度 全国中学校体育大会 第54回全国中学校ハンドボール大会

- ☐ 男子
☒ 女子
☐ 一般
☐ 学生
☐ 高校生
☐ 高専
☒ 中学生
☐ 小学生

公 式 記 録 用 紙

チームA										チームB											
宇土市立鶴城中学校(熊本)										小松市立芦城中学校(石川)											
都道府県		市区町		会場		観客数		年月日		回戦											
沖縄県		豊見城市		豊見城市民体育館				2025.8.25		準決勝											
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mスロー コンテスト	A	B							
	20	8		44	25																
7m得点/総数	A		チームタイムアウト		チームタイムアウト		B		7m得点/総数												
	F / 正						12:32 13:41		T / T												
背番号	チームA				G	W	2	2	D	DR	背番号	チームB				G	W	2	2	D	DR
1	那 須 玲 衣										1	田 中 愛 珠									
2	後 藤 柚 希 奈				正	正					②	西 琉 衣				F					
3	齊 藤 亜 希				正	F					3	高 来 莉 央				正	T				
4	中 村 萌 香				-						4	黒 田 桜 那				正	F				
5	坂 本 真 優				正	T					5	紺 谷 利 結				F					
6	永 守 彩 恵										6	早 松 結 愛				T					
7	中 野 恋 姫				正	-					7	肩 依 央 梨				-					
8	八 木 佑 歌				F						8	千 葉 海 莉				-					
⑨	北 野 枝 麻				F						9	竹 田 結 咲									
10	松 野 兎 萌										10	高 島 有 紗									
11	藤 井 真 悠										11										
12	高 田 結 生										12	川 中 嘉 那									
13	平 江 心 美				T																
14	長 谷 河 萌 乃 歌																				
15	岩 崎 璃 子																				
A	光 永 和 之										A	埴 田 直 人									
B	坂 本 光 世										B	月 縄 優 心									

A	光 永 和 之	チーム役員A 署名	埴 田 直 人	B
特記事項				

レ	フ	エ	リ	金城 久徳	金城 康太	署名	金城 久徳	金城 康太
T	D			田中 智博	平良 徳彦		田中 智博	平良 徳彦
M	O			岡本 大典			岡本 大典	

得点(G)、警告(W)、退場(2)、失格(D)、報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

試合終了後、レフェリー、TD、オフィシャルのサイン入り報告書は原本(1枚)を日本協会に提出する。チームにはサインのない印刷した用紙を配布する。

1枚目 主幹協会用 チーム責任者のサイン入り、試合前なのでその他の数値等は未記入。

2枚目 日本協会提出用 すべての数値等を記入後オフィシャル・TDのサイン入り、全てを記載する。

3、4枚目 両チーム用 チーム責任者、オフィシャル・TDのサインがない。必要であれば後刻サイン入りのコピーを配布してもよい。

令和 7 年度全国中学校体育大会

第 5 4 回全国中学校ハンドボール大会

A	宇土市立 鶴城中学校(熊本)		対戦チーム名		B	小松市立 芦城中学校(石川)	
A 合 計	44	前半	20	—	8	前半	25
		後半	24	—	17	後半	
		第 1 延長	—		第 1 延長		
		第 2 延長	—		第 2 延長		
		7 mTC	—		7 mTC		
						B 合 計	

鶴城(熊本県)と芦城(石川県)との準決勝は、試合開始早々、2 番後藤柚希奈、5 番坂本真優らで 5 連続ゴールと気を吐いた。対する芦城は、6 番早松結愛の PV シュートや 4 番黒田桜那のカットインシュートなどで応戦する。鶴城は、人もボールも良く動き、スピードに乗った攻めと足を使った粘り強い固いディフェンスで大きくリードし、前半は 20－8 で折り返しとなる。

後半は 7 番中野恋姫の速攻や 5 番坂本真優のサイドシュートなど鶴城のの連続得点で試合が始まった。芦城はエンプティゴールを確実に決め、5 番の紺屋利結のロングシュートなどで得点する。後半 13 分 34－16 となったところで、芦城がタイムアウトを要求。タイムアウト明けに、3 番高来莉央のサイドシュートや 7 m スローを確実に決め、1 番田中愛珠が 7 m スローを好セーブするなど意地を見せる。鶴城は、退場者を出すものの豊富な運動量で数的不利をカバーし、得点を重ねる。余裕のある鶴城中は要所を押さえてリードを保ったまま 44－25 で逃げ切り、鶴城の勝利となった。ディフェンス、オフense共にレベルの高いナイスゲームであった。2 番後藤柚希奈は 14 得点の活躍も光った。